

# しょうわ

1994.7.1 昭和高等学校同窓会会報

発行/愛知県立昭和高等学校同窓会

## 発刊に寄せて

同窓会長 三田一幸

『歓楽極まりて、表情生す。』

母校の創立50周年の記念行事が、さまざまな困難を克服して見事にまとめ上げたミュージカル「ザ・ドリーム」と共に、感動の涙のうちに終わってみると、冒頭の言葉が、あらためて、じんわり胸に滲みてくるのをどうすることもできませんでした。

感動の余波の静まった頃、同窓生の一部に問いかけてみました。

「哀情の生じる余地のない『日常』の同窓会活動とは何だろうか？」

“会報を作ろう。そして、それを継続し、会員の求心力の中心にしよう。”

これが湧くように上がってきた議論であり、結論でした。

母校と会員の情報が、会員に行き渡り、会員がそれを共有することが、会員意識を充実させ、感動をもたらす“よすが”となるであろう、というわけです。

その後のこの提案は、正式に役員会に上程され、会員の討論の洗礼を受け、より緻密なまた、正式なものとなったことは言うまでもありません。

以上が会報『しょうわ』誕生のエピソードです。

会報は、それに盛る内容と共に、倦むことなき継続こそが必須の条件です。

しかし、時宜を得た内容の継続に要するエネルギーは、想像を絶しましょう。会員諸氏の協力をお願いする次第です。

